



平山 聡 議員



二次元コードからスマホで質問の内容や録画が見られます。



水郷おみがわ花火大会は毎年1万発に

Q 1万発の恒例化に向けた香取市の考えは。
A 1万発打上げの継続については、打上げ発数増加の効果検証結果や決算状況等を参考に、水郷小見川観光協会と連携して検討します。

Q 企業版ふるさと納税・ガバメントクラウドファンディング・ネーミングライツ等を利用した財源確保の予定は。
A 従来の財源確保策の実施に加えて、企業版ふるさと納税など、新たな財源確保策

について、水郷小見川観光協会と連携して検討します。

Q 商店街への経済効果や神栖市との連携は。
A 経済波及効果向上のため、地域の商店街と連携し来場者の消費拡大を図ることが必要です。神栖市との連携は、水郷小見川観光協会と情報共有し研究します。

Q 官民連携による賑わい創出の重要性は。
A 地域の有志団体によるイベントが花火大会と同日に開催され、活性化に寄与されています。香取市は今後も関係機関と連携し協力していきます。

意見 利根川の対岸でキッチンカーや裏花火というイベントを仕掛けてみてはどうか、また来場者8万人規模のイベントが夜の1時間半だけではもったいない。官民一体となり香取市が誇る夏の風物詩へすべきと考える。

選挙投票率向上の施策は

Q 投票率低下の要因は。
A 様々な要因が考えられますが、特に10代、20代の投票率が低いことが挙げられます。

Q 民間企業と連携した投票者優待サービスは投票率向上に有効と考えるが見解は。
A 特定の人材に利益をもたらすことは望ましくないことから、優待サービスの取り組みを行うことは考えていません。

エネルギー危機下における市民への支援制度は

Q 令和7年度の低所得世帯・子育て世帯・介護保険施設・保育所等への支援は。
A 低所得者と子育て世帯には、令和6年度住民税均等割非課税世帯に1世帯あたり3万円を給付し、子育て世帯には更に、1人あたり2万円を追加給付しました。各福祉施設には、206事業所に総額2245万円を給付しました。

Q 省エネの補助金対象設備の拡充と市内業者を活用した事業の実施は可能か。

A 家庭用高効率給湯器への補助については、温室効果ガス排出量の削減効果等を調査し、検討します。市内事業者が設置する場合の上乗せ補助については、県内市町の状況等を参考に研究します。

Q 地域防災計画における燃料備蓄・協力体制の現状は。

A 香取市地域防災計画に基づき石油類、ガスについて、それぞれの関係団体と協定を締結し、優先的な供給等を要請できる体制を取っています。

意見 災害時は市内協定締結者自らも被災している場合があるため広域での災害協定を。

等に対して支援を行っていますが、資格取得費用につきましても補助対象外となっています。今後、大型トラクターや重機を使用した作業の効率化は農村環境の維持には重要であるため、他の自治体の事例も参考にしながら、担い手が持続的に農業に取り組めるよう支援策について調査・研究を行います。

意見 農村地域は、年々より少ない人数で地域社会の維持活動を行うこととなります。生活や農業環境を守るためには、人を増やすことが肝要です。それにつながる、「新規就農のためのワンストップ窓口の設置」「50歳以上の就農支援」の政策の実施を、「大型特殊免許等の取得助成」と共に、強く期待しています。



林 繁行 議員



二次元コードからスマホで質問の内容や録画が見られます。



新規就農者を選ばれるまち、持続可能な農業の実現

Q 新規就農相談について、ワンストップ窓口の設置計画はあるのか。

A 香取市では、農地中間管理事業を活用した農地の提供希望者と耕作希望者の仲介支援や、農業委員や農地利用最適化推進委員からの情報などに基づき、農地の紹介を行っています。担い手の確保は重要課題と認識し、就農希望者が円滑に就農できる環境づくりは不可欠であるため、

Q 農作業や基盤整備、農業土木に必要な資格取得費用の助成を市民に対して行う計画は。

A 地域で行っている除草作業等の農道整備や耕作放棄地の維持管理には多大な労力がかかることから、地域農業の維持に必要不可欠な取り組みとして、現在、多面的機能支払交付金事業で地域の環境保全会